

## JavaScript 入門 テキスト課題 最終補足 配列操作 1

配列操作に関する学習です。

保存時ファイル名 : [textb-arrsousa1-sample-1.html](#)、[textb-arrsousa1-1.html](#) 等。

## &lt;サンプルプログラム&gt;

```
let arr = new Array(3);
//開始、終了位置を指定無しの場合
arr.fill(0);
for(let a of arr){
    document.write(a + "<br>");
}

//開始、終了位置を指定する場合
arr.fill(1,0,2);//0 から 1 (2-1) まで 1 で埋める
for(let a of arr){
    document.write(a + "<br>");
}
```

- fill は指定した値を配列にセットする。  
Array.fill(値,開始位置,終了位置)  
※位置は要素番号。開始は 0 から。終了は+1 する  
※開始位置、終了位置を指定しない場合は配列全体が対象

- 1、1、0 になる

```
let arr = ["犬","猿","羊","猿"];
//位置指定無し
let res = arr.includes("犬");
document.write(res + "<br>");
//位置指定有り
res = arr.includes("犬",1);
document.write(res + "<br>");
```

- includes は指定した位置以降に値が含まれるか判定。戻り値は boolean。  
Array.includes(値,検索開始位置)  
※値は 1 つのみ指定可能  
※位置は要素番号。開始は 0 から  
※位置を指定しない場合は先頭から検索

```
let arr = [100,70,"",50];
let res = arr.some(function(e){
    return typeof e !== "number";
});
document.write(res + "<br>");
```

- some は配列の各要素に対して 1 回ずつ判定用関数を実行（関数の引数に各要素が代入される）し、1 つ以上の要素が判定で true になるかどうかを返す。戻り値は boolean。

## <練習問題>

### 練習 1

配列 `arr` を宣言して下さい。 `arr` に「あ」「い」「う」を代入して下さい。  
`fill` を使用して `arr` の全要素に「a」を代入して下さい。  
`arr` の全要素を画面表示して下さい。

正常結果例：「a」「a」「a」が画面表示

### 練習 2

配列 `arr` を宣言して下さい。 `arr` に「50」「20」「100」を代入して下さい。  
変数 `ten` を宣言し、結果例を参考にして値を代入して下さい。  
`includes` を使用して `arr` に `ten` の値が含まれるか判定して下さい。含まれていた場合は「含まれます」を、含まれない場合は「含まれません」を画面表示して下さい。

正常結果例：「100」の場合、「含まれます」が画面表示。  
「0」の場合、「含まれません」が画面表示。

### 練習 3

配列 `arr` を宣言して下さい。 `arr` に、結果例を参考にして値を代入して下さい。  
`some` を使用して `arr` に 80 点代の要素があるか判定して下さい。含まれていた場合は「含まれます」を、含まれない場合は「含まれません」を画面表示して下さい。

正常結果例：配列「70」「80」「85」「100」の場合、「含まれます」が画面表示。  
配列「79」「90」「100」「10」の場合、「含まれません」が画面表示。

### 練習 4

配列 `arr` を宣言して下さい。 `arr` に、結果例を参考にして値を代入して下さい。  
`some` を使用して `arr` に空文字または「-」の要素があるか判定して下さい。含まれていた場合は「含まれます」を、含まれない場合は「含まれません」を画面表示して下さい。

正常結果例：配列「佐藤」「-」「山田」の場合、「含まれます」が画面表示。  
配列「佐藤」「'' (空文字)」「山田」の場合、「含まれます」が画面表示。  
配列「佐藤」「斎藤」「山田」の場合、「含まれません」が画面表示。